

# 決戦下の學徒に告ぐ

團長 石橋 誠道

あゝ學徒の出陣、誠に古今未曾有である。由來一國若くは一部他國と與に、激烈な戦争をしたことはあるが、世界萬國が二つに分れて、全力を盡して戦つたことは、實に今回が始である。されば學徒の出陣は當然すぎるほど當然である。この戦にうち勝つて彼の暴戾極まる米英を徹底的に懲らさなければ、悔を千歳に残す恨みがある。

米英が先進國であるかぎうかはぎうでもよい。先進國を言ふならば、印度や羅馬の方が尙ほ先進國である。然るに近世海運鉤術等の發達に連れて、東洋諸國を探し廻つて、その民族が平和な生活に安じつゝあるのを驚かし、貿易か服従かそれでなければ銃殺か脅かし、遂に今日に至つたのである。既に此等の諸民族が立派に自覺した後には、自由に任せて獨立を許すのが當然である。にも關らず貪婪飽くなき米英が、正義人道を全く無視して、我慾を逞うせんとするは全く鬼畜の業である。我國の今度の戦は眞に正義の樹立である。

あゝ前途ある青年諸君、筆に辯に破邪顯正の法幢を押し樹てゝ、以て高邁なる文化を興せ。